

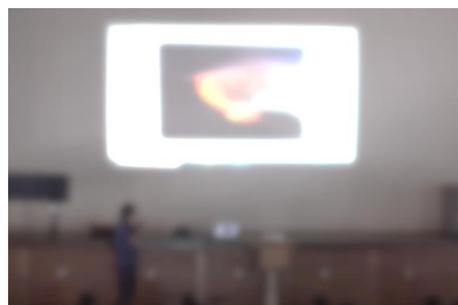
# 白砂青松の地で

## 「普賢岳災害を語り継ぐ日」にあたり



34年前の6月3日の大火砕流により43名の方々が尊い命をなくされたり、復興まで何年もかかる被害がもたらされたりしました。深江の大野木場小学校が同年9月15日の火砕流の熱風で消失したことから、南島原市の学校では「普賢岳災害を語り継ぐ日」として、この時期に集会等の取組を行っています。

本校では、布津町出身の教諭に学生だった当時の状況や大変さを話してもらいました。子ども達は、噴火の規模と地域の被害の大きさや、仕方なく転校しなければならなかった人の話に聞き入っていました。災害の怖さと共に身近に起こる可能性があることからの備え、そして当たり前のできる生活ができることへの感謝に考えを持つ機会になりました。



## 4年生の学び（社会科見学・福祉学習）

4年生が長崎への社会科見学について2回目の発表をしました。練習を繰り返して「衛生センター」と「長崎ピーススタジアム」についての発表でしたが、延期になっていたのを感じさせない聞く側を意識したよい表現（声の大きさ、身振り手振り）が見られました。内容も良くて全校の手本となるものでした。

また、4年生は総合的な学習の時間で『福祉について』の学習活動を行います。16日（火）には、市の福祉課、社会福祉協議会等の方々、そしてゲストティーチャーを招いて、福祉について学びました。視覚障がいのある方からは生活の仕方や工夫されていること、本校の保護者の中村麻衣さんからは家族としての願いや思いについて話を聞きました。様々な立場の方から話を聞いて「知ること」が判断や行動のきっかけになり、個人や集団の成長につながっていくものです。

10月には福祉施設訪問をして実際に交流体験を行います。ある意味一生にかかわるような学習体験とも言えます。表現力が出来てきた4年生の学びの様子が楽しみです。



👉 アイマスクの体験中



先日配付した10月行事予定の中に、「教育実習開始」の文字が見えたと思います。本校卒業生が10月6日（月）から31日（金）までの4週間受け入れます。主たる担当学年を2年生としていますが他の学年にも参観等で入ります。いつか加津佐小を支える人材になってくれることと思います。どうぞよろしくお願いいたします。